

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
1501312	学校栄養指導論Ⅱ Nutrition education of school Ⅱ	石川 桂子	専門	2	選択	3年 後期

科目の概要

栄養教諭は、栄養に関する専門性と教職に関する専門性を身に付ける必要がある。子どもの発育や発達、あるいは行動特性や教科等の特徴を学びながら、食育の全体計画を作成し、子どもの発達段階に応じた食育の模擬授業を行う。また、学校、家庭、地域と連携し、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進や、肥満・やせ、食物アレルギーといった個別指導の実践につながる取り組みもしていくなど、栄養教諭にとって必要な知識と実践的指導力を修得し、児童生徒の豊かな食生活と健康を創造できる栄養教諭を目指す。

学修内容	到達目標
① 子どもの発達段階に応じた食育について考える。 ② 食育の全体計画の作成の意義や作成の方法などを理解する。 ③ 教科等の特徴と食育の視点について理解する。 ④ 学校、家庭、地域と連携し、学校給食を生きた教材とした食育の在り方を考える。 ⑤ 肥満ややせといった個別指導の手法について学ぶ。	① 子どもの発達段階が理解でき、発達段階に応じた内容の食育を考えられる。 ② 全体計画の意義を説明でき、立案のための方法がわかる。 ③ 教科の視点に沿った食育指導案を作成し、模擬授業をすることができる。 ④ 学校、家庭、地域が連携した指導を計画することができる。 ⑤ 個別指導の手法に基づいた栄養相談ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	<b>主体性</b>	栄養教諭として働いている姿を思い描きながら、授業の達成目標到達のために必要な知識・技能について自発的に取り組むことができる。
	<b>働きかけ力</b>	
	<b>実行力</b>	授業では受け身にならず、授業の達成目標に到達するために、より深く知識・技能を修得しようと意欲的に行動する態度を身に付ける。
考え抜く力	<b>課題発見力</b>	授業の達成目標に到達するために、自分自身の課題を見極め、自己学修により知識および技術の習得に励もうとする。
	<b>計画力</b>	
	<b>創造力</b>	自分の理想とする栄養教諭像を創造し、そのために必要な授業達成目標に到達するために、修得した知識・技能を活用して課題解決することができる。
チームで働く力	<b>発信力</b>	授業の達成目標に到達するために、授業の内容を分かりやすく整理してまとめたり記述（図表含む）したりすることができる。
	<b>傾聴力</b>	授業の達成目標に到達するために、グループ討議では他者から意見や伝えたいことを引き出し、その意見を尊重できる。
	<b>柔軟性</b>	
	<b>状況把握力</b>	
	<b>規律性</b>	授業の達成目標に到達するために、授業中に出される指示等の約束事を守り、授業に参加できる。
	<b>ストレスコントロール力</b>	

テキスト及び参考文献

教科書：「食に関する指導の手引き 第一次改訂版」(文部科学省)東山書房 1200円  
 参考書：「栄養教諭のための学校栄養教育論」(笠原賀子)医歯薬出版 2800円  
 「栄養教諭<第2版>」(金田雅代)建帛社 2400円

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:教職入門 教育原理 教育心理学 教育制度論 教育方法論 道徳教育特物活動論 生徒指導論 教育相談(カウンセリングを含む) 教職総合演習 A・B 実習指導 栄養教育実習 教職実践演習  
 食品衛生学 食事摂取基準論 栄養計画論  
 資格との関連:栄養教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
・配布プリントは、講義のノートとともにまとめること。 ・授業の内容について、グループやクラスで話し合いの機会を設ける。積極的に意見交換をし、考えを深めてほしい	1 講義には集中して臨む、課題の提出の期限を守るなどマナーを守る。 2 グループ活動では、社会人基礎力を発揮して積極的に活動に参加する。 3 遅刻3回を欠席1回として扱う。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	80	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達段階や教科等の特徴を知り、食育の指導案を作成できる。</li> <li>・アレルギー対応や偏食、スポーツをする子供への個別指導ができる。</li> <li>・学校給食を活用した食育ができる。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「求められる栄養教諭について」</li> <li>・テーマに沿った内容で学修したことを基に自分なりの意見がまとめられている。(10点)</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性) 予習が教科書レベルで実行できている。</li> <li>(実行力) 予習が教科書以外の情報源から修得する行動ができている。</li> <li>(課題発見力) 本時の授業の目標を達成するために不足している知識・技能を抽出し、その内容について学修ができている。</li> <li>(創造力) 本時の授業の目標を達成するための課題を解決するために修得した知識・技能を最大限に活用して、提示した課題を解決することができている。</li> <li>(発信力) 本時の授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことを記述(図表含む)することができている。挙手の回数については、回数を得点化する。</li> <li>(傾聴力) 本時の授業で提示した質問項目について、学生間で意見交換をします。相手の意見が分かりにくい、疑問について質問をすることができる、また意見を引き出すコメントができている。</li> <li>(規律性) 授業終了時に【学修行動特性評価】シートを提出することができている。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>子どもの発達段階を考慮し、学校給食を活用した食育の指導案を作成できる。また、アレルギー対応などの個別指導をすることができる。</p> <p>S(秀)は、栄養教諭の視点で、子どもの状況をつかみ、子どもの発達段階や教科等の特徴、学校給食等を踏まえた指導案の作成や個別指導ができる。</p>	<p>子どもの発達段階や教科等の特徴など基本的なことについて理解し、指導案作成や個別指導ができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・食に関する指導の基礎 1 学習発達理論について知り、低学年における「食べ物の3つの働き」の授業でどう活用していくか考え、指導案を作成する。	配布プリントによる講義 演習「食べ物の3つの働き」指導案作成	ピアジェの学習発達理論に沿った低学年における「食べ物の3つの働き」の指導案が作成できる。	予習:ピアジェの学習発達理論について、授業シート 復習:指導案の作成、授業シート	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	・食に関する指導の基礎 2 第1週の指導案を基に模擬授業を行う。	模擬授業 授業に対する質問と相互批評	作成した指導案を基に発表することができる。相互批評を基によりよい学習指導案を作ろうとする。	予習:授業シート、発表の練習 復習:指導案の見直し、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	食行動に関するステージ別指導理論について知り、この理論に基づく野菜嫌いの子への給食時間の指導について考える。	配布プリントによる講義 グループ討議 「理論をどのように指導に結び付けたらよいか」発表と意見交換	食行動に関するステージ別指導理論に基づく野菜嫌いの子への指導の方法を考えることができる。	予習:行動科学について、授業シート 復習:意見交換等をもとに指導方法の見直し、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	コミュニケーション技術のコーチングについて知り、栄養教諭としてまず、子どもとラポールの形成をどう築いていくか考える。	配布プリントによる講義 グループ討議 「子どもとどのような方法でラポールを形成していくか」	子どもとの関係をどう築いていくか考えることができる。	予習:コーチングについて、授業シート 復習:授業シートによる子どもとのラポールの形成について	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	食に関する指導に係る全体計画を作成する意義について知り、実態に即した全体計画を作成する。	講義 演習「全体計画の作成」	食に関する指導に係る全体計画を作成する意義を理解し、実態に即した全体計画が作成できる。	予習:食に関する指導に係る全体計画について、授業シート 復習:全体計画の作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	学習指導要領について知り、ねらいが「生きる力」であることに気付く。このねらいに沿った授業とはどのようなものか考える。	講義 グループ討議「生きる力をねらいとした授業はどんな授業か」	学習指導要領のねらいが「生きる力」であることに気付く。ねらいに沿った授業とはどのようなものか考えることができる。	予習:学習指導要領総則の熟読、授業シート 復習:授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	家庭、技術家庭の目標を学習指導要領から読み取り、その目標を食育の視点でとらえ、家庭における食育の指導案を作成する。	講義 演習「家庭の学習指導案作成」	家庭、技術家庭における食育の指導案を作成できる。	予習:学習指導要領家庭、技術家庭の熟読、授業シート 復習:家庭の学習指導案作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	保健体育の目標を学習指導要領から読み取り、その目標を食育の視点でとらえ、保健体育における食育の指導案を作成する。	講義 演習「保健体育の学習指導案作成」	保健体育における食育の指導案を作成できる。	予習:学習指導要領保健体育の熟読、授業シート 復習:保健体育の学習指導案作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	特別活動及び道德における食に関する指導について学習指導要領から読み取り、特別活動の学習指導案を作成する。	講義 演習「特別活動における学習指導案作成」	特別活動と道德それぞれの目標の違いに気付く。特別活動の学習指導案を作成できる。	予習：学習指導要領 道德、特別活動の熟読、授業シート 復習：特別活動の学習指導案作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	特別活動における模擬授業を行い、食に関する指導による効果、児童生徒の理解、定着度を評価する方法について考える。	模擬授業 授業に対する質問と相互批評 グループ討議 「児童生徒の理解、定着度を評価する方法」	食に関する指導による効果、児童生徒の理解、定着度を評価する方法について考え、模擬授業ができる。	予習：模擬授業の練習、指導をどのように定着していくか指導計画を考える、授業シート 復習：学習指導案の見直し、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	生活科における食育について考える。 給食における食育の特性を理解し、ねらいをもって献立を作成し、放送資料を作成する。	講義 演習「生活科と関連した給食献立の作成と放送資料の作成」	生活科における食育について理解できる。 給食における食育の特性を理解し、ねらいのある献立を作成でき、それを伝える放送資料を作成することができる。	予習：学習指導要領 生活科の学級活動の熟読、授業シート 復習：給食献立と放送資料の作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	総合的な学習の目標を知り、総合的な学習における食育の単元を構成し発表する。	講義 グループ討議 演習「総合的な学習の時間における5年生私たちの生活と食料生産と関連した食育の単元構成」	総合的な学習の目標が理解できる。総合的な学習における食育の単元を構成できる。	予習：学習指導要領 総合的な学習の時間の熟読、授業シート 復習：食育の単元構成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	食生活学習教材について知る。 国語科6年「海のいのち」を題材とした「感謝して食べよう」の指導はどのようなものか考え、学習指導案を作成する。	講義 グループ討議 演習「感謝して食べようの学習指導案作成」	「海のいのち」を読み解き、感謝して食べようの指導につなげることができる。	予習：学習指導要領 国語の熟読、授業シート 復習：指導案の作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	地域の食文化や地場産物の活用という視点での家庭や地域との連携の必要性や地域との連携の方法について考える。また、学校給食を生きた教材として活用した食育について考える。	講義 グループ討議 「地域の関係団体との連携の方法について」 演習「地場産物を活用した学校給食献立の作成と指導資料の作成」	学校、家庭、地域と連携した食育の方法がわかる。また、地場産物を活用した学校給食献立の作成と指導資料の作成ができる。	予習：学校、家庭、地域と連携方法、授業シート 復習：学校給食献立の作成と指導資料の作成、授業シートによる授業内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	肥満ややせ、スポーツをする児童生徒に対する個別指導の方法について知り、対象となる個人の食品構成と指導資料を作成する。	講義 演習「食品構成」 発表	スポーツをする児童生徒に食品構成と指導資料を作成することができる。	予習：食品構成の作成方法、授業シート 復習：スポーツをする児童生徒への指導方法について理解を深める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力